

## 難波研究室現地調査報告

6月6日に裏磐梯桧原湖北部、会津川、大川入川、長井川、早稲沢にて現地調査を実施しました。調査者は難波研究室の4年生3名、技術補佐員1名、教員の5名でした。

桧原湖北部の3点で湖水の調査を行いました。3点とも表層の水温は20℃付近で、水深が深くなるにつれ水温は下がり水深6mでは水温16℃でした。水深6mから10mの間に急激に水温は低下し、水深10m以深では水温は8℃付近で安定し、温度成層が形成されていました。また、水深5m付近から深くなるにつれて電気伝導度が低くなっていました。溶存酸素の飽和度は、水深1-7m付近では90~95%で、水深10m付近から深くなるにつれてだんだん低くなっていました。また、桧原湖内3点の底泥および水試料と流入河川の7点での採水試料について大腸菌群の計数を行いました。今後研究室にて同定を行う予定です。

